

経営比較分析表（令和6年度決算）

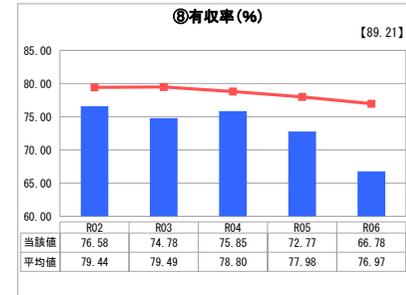
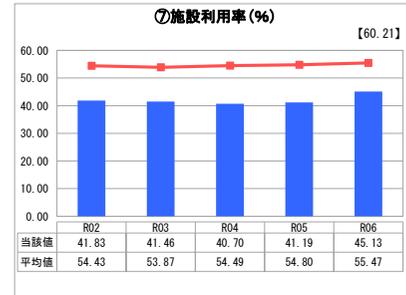
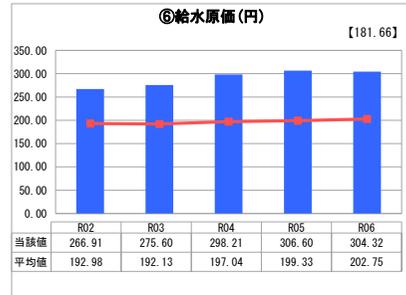
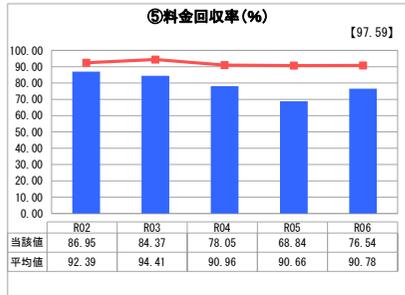
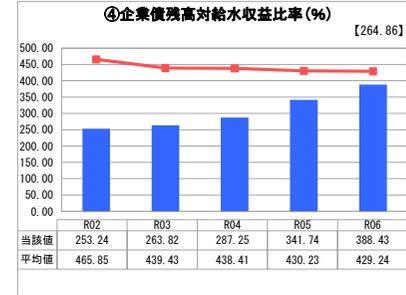
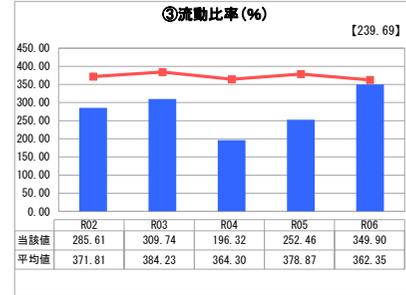
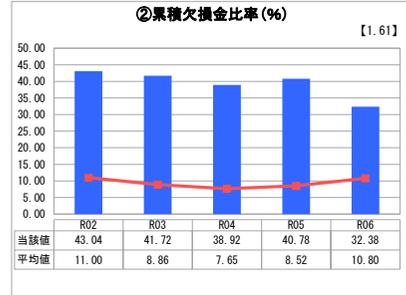
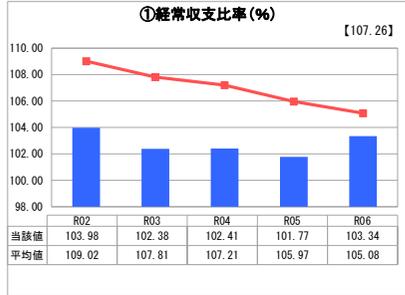
岡山県 勝央町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	55.18	99.91	4,510	

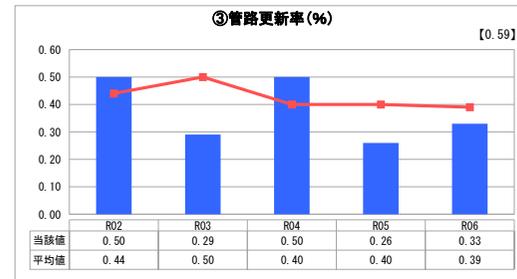
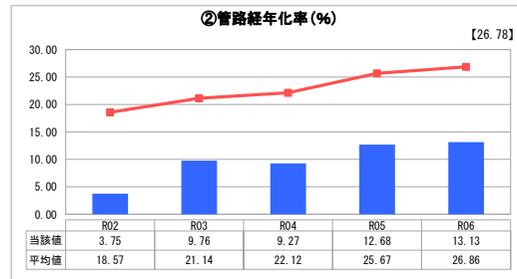
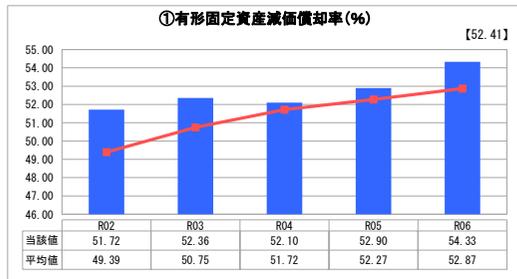
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,737	54.05	198.65
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
10,668	44.09	241.96

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
□	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①回復傾向にあるが、依然として平均値を下回っている。維持管理費削減に努めると共に、今後も経営の健全化に取り組む必要がある。
 ②類似団体平均値を大幅に下回っている。営業収益の増加、及び欠損金の削減を図っていく。
 ③平均値を下回っているが、年々回復傾向にある。今後も施設更新にかかる流動負債が増加する傾向にあるため、注意が必要である。
 ④回復傾向にあるが、今後も給水収益が減少し企業債が増加する傾向にあるため、計画的に施設更新を行う必要がある。
 ⑤施設更新等に要する費用により、年々給水原価が高くなっている。費用削減、及び収益増加に取り組む必要がある。
 ⑥平均値を大きく上回っている。他団体からの受水費が大きな要因となっている。
 ⑦平均値を下回る形で推移している。余剰水量の有効活用の検討が必要である。
 ⑧老朽管更新工事を実施しているが、依然として低い水準である。今後も計画的に更新工事、及び漏水修繕を行う。

2. 老朽化の状況について

①法定耐用年数に近い資産が増加し、依然として平均値を上回っている。今後も増加していく傾向にある。
 ②平均値を下回っているが、増加傾向にある。今後も計画的に管路更新を行う必要がある。
 ③財政状況等を勘案し、引き続き管路更新工事を進めていく必要がある。

全体総括

年々給水収益は減少しているが、施設更新工事費用は増加傾向にある。また、更新工事に伴う企業債の増加により、経営状況は非常に厳しい状況にある。依然として一般会計からの繰入金に依存している。経費削減に努めると共に、給水収益の増収も重要になる。今後も施設の老朽化が進み、更新費用が増加傾向にあるため、財源の確保と費用の削減を図らなければならない。今後もさらに財政状況が厳しくなることが予想されるため、状況に応じた対策を実施し経営の健全化を進めていく。